

宇都宮市立白沢小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・各教科における、学習の「めあて」「まとめ」「ふり返り」の明確化・確認	・授業において、「めあて」「まとめ」「ふり返り」を板書して確認し、ノートにもまとめるよう、継続して指導している。	・授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている」では、本校の肯定割合は78.3%と、市より3.6ポイント低い。
・互いの考えや意見をさまざまな形態で伝え合う活動の実践	・自分の考えや意見を文章や数値などを使ってまとめ、それをもとに友達とさまざまな形態(ペア・グループ・学級全体)で学び合う場面を設定し、考えを共有するようにしている。	・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」では本校の肯定割合は70%で、市より11.9ポイント低い。また、「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」は63.3%で、市よりも6.5ポイント低い。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・文章を正しく読み取り、分かりやすく要旨やあらすじなどをまとめる力を身に付ける。
- ・自分の考えや分かったことなどを、文章や図、式などによって表現したり、まとめたりする活動を各教科において意図的、継続的に行う。
- ・学習の基礎・基本となる漢字・語句の学習や計算の力などがしっかりと定着するよう、授業時間だけではなく、朝の学習の時間を活用したり、家庭学習を奨励したりして、繰り返し学習するよう支援する。
- ・各教科の授業において、児童が自分の考えをまとめ、ペア・グループ・全体で学び合う場を設け、考えを話し合う活動を取り入れる。